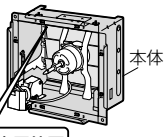
MITSUBISHI

1303875HF9502



形名によって据付・取扱方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

三菱 クリーンコンパック 換気扇(窓枠据付専用)
20㎝・25㎝・30㎝
＜学校・事務所・店舗用＞

格子タイプ

形　名	用途	シャッター方式	運転方式	電気工事
EX-20SC3　EX-25SC3 EX-30SC3	教室 事務所	電気式	埋込スイッチ・速調付	AC100V 電源コード直付け
EX-20SC3-S　EX-25SC3-S EX-30SC3-S			埋込スイッチ	AC100V コンセント
EX-20SC3-RK　EX-25SC3-RK EX-30SC3-RK			埋込スイッチ・給排式	AC100V 電源コード直付け

標準タイプ

形　名	用途	シャッター方式	運転方式	電気工事
EX-20SC3-EH　EX-25SC3-EH EX-30SC3-EH	教室 事務所	電気式	埋込スイッチ	AC100V コンセント

■ウェザーカバー・据付部材 対応表

タイプ	標準仕様	防火ダンパー仕様	
	ウェザーカバー	防火ダンパー付ウェザーカバー	据付部材
20㎝	P-20CVA4（アルミ製） P-20CVS4（ステンレス製） P-20CVSP4（ステンレス製） P-20CVS4-BK（ステンレス製）	P-20CVAD4（アルミ製） P-20CVADK4（アルミ製） P-20CVSD4（ステンレス製） P-20CVSDK4（ステンレス製） P-20CVSD4-BK（ステンレス製） P-20CVSDK4-BK（ステンレス製）	P-20WPS2
25㎝	P-25CVA4（アルミ製） P-25CVS4（ステンレス製） P-25CVSP4（ステンレス製） P-25CVS4-BK（ステンレス製）	P-25CVAD4（アルミ製） P-25CVADK4（アルミ製） P-25CVSD4（ステンレス製） P-25CVSDK4（ステンレス製） P-25CVSD4-BK（ステンレス製） P-25CVSDK4-BK（ステンレス製）	P-25WPS2
30㎝	P-30CVA4（アルミ製） P-30CVS4（ステンレス製） P-30CVSP4（ステンレス製）	P-30CVAD4（アルミ製） P-30CVADK4（アルミ製） P-30CVSD4（ステンレス製） P-30CVSDK4（ステンレス製）	P-30WPS2

※防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合はシステム部材の据付部材（対応表参照）が必要ですので組み合せて使用ください。

据付・取扱説明書

工事店様

据付け終了後、正しい据付けができたかを確認してください。(「5. 据付後の確認」参照)
なお、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

正しく安全に据付けてお使いいただくために、この説明書を必ずお読みください。なお「安全のために必ず守ること」は据付作業上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

■新規据付時、アルミパネル穴あけ工事はお買上げの販売店または専門の工事店様が実施してください。

■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.　No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

お客様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切しない 爆発・引火の原因。	ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグを抜差ししない 感電・けがの原因。
	●電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない 火災・感電の原因。	指示に従う	●お手入れの際、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。
	●交流 100 V以外では使用しない 火災・感電の原因。		
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。		
分解禁止	●分解・改造はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。	プラグを抜く	●お手入れの際は、電源プラグを抜くか、分電盤ブレーカーを切る 感電・けがの原因。

お客様へ

⚠注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体や部品の落下によりけがの原因。	指示に従う	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートして発火の原因。
接触禁止	●運転中は、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。	プラグを抜く	●長時間ご使用にならないときには、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
指示に従う	●羽根や部品の取付けは確実に行う 部品の落下によりけがの原因。		
	●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。		

工事店様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●改造しない 火災・感電の原因。
指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に据付ける場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように据付ける 漏電した場合発火の原因。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●天井には据付けない 落下によりけがの原因。
	●高温（室内温度 40℃以上）になる場所や直接炎のあたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因。
浴室取付禁止	●浴室など湿気の多い場所や結露する場所には据付けない 感電・故障の原因。
指示に従う	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。
	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

お願い

■据付環境

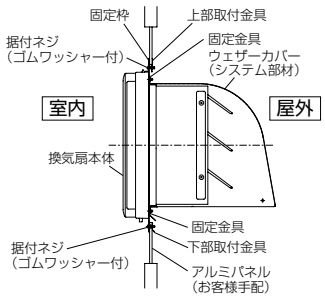
- ●下記の場所には据付けないでください。
  - ・温泉地　・塩害地域　・薬品工場
  - ・養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
  - ・業務用厨房
- ●台所など油で汚れやすい場所には据付けないでください。
  プラスチック部品の変形・破損の原因になります
- ●本製品は専用ウェザーカバーが必要ですので必ず組み合せてご使用ください。

■換気扇の据付場所

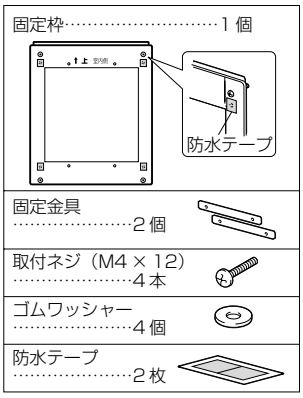
- ●天井・壁から 70 ㎜以上離れたところに据付けてください。
- ●床面から 1800 ㎜以上のメンテナンス可能なところに据付けてください。
- ●空気の流れが必要なため換気扇の反対側に出入口・窓などがあるところに据付けてください。
- ●ダクト接続はできません。
- ●カーテン・ひもなどが触れるおそれのない場所に据付けてください。
- ●燃焼警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れた場所に据付けてください。(SC3-RK タイプのみ)
- ●燃焼排ガスなどを吸い込むおそれのある場所には据付けないでください。(SC3-RK タイプのみ)

■室内には専用の給気口を設けるようにしてください。
(扉の開閉が困難になったり、製品の性能が得られないことがあります)

■据付例



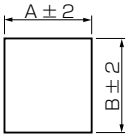
■付属部品



給気 | 排気

※左のスイッチ用「給気・排気」ラベルを給排切換スイッチにご使用ください。(SC3-RK タイプの場合)

2. アルミパネル穴あけ工事



換気扇据付用の穴あけ寸法　単位（㎜）

タイプ	A	B
20㎝	300	340
25㎝	350	390
30㎝	400	440

■アルミパネルはお客様手配です。
■お客様にてアルミパネルに指定寸法の角穴を開けてください。

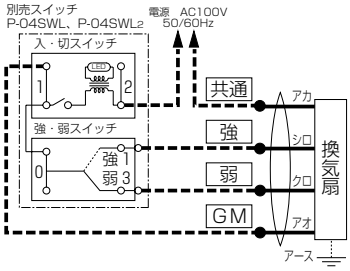
お願い
- 窓枠にはめ込むアルミパネルは厚み３～５㎜で換気扇およびウェザーカバーを取付けるのに十分強度のあるものを選んでご使用ください。
- 角穴は窓枠と 70 ㎜以上離してください。

3. 電気工事

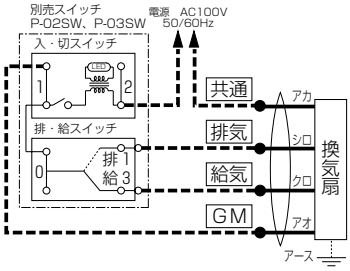
※破線部分を結線してください。
※Ｄ種接地工事を実施する場合は本体内のアース端子をご使用ください。

■結線図

■SC3タイプ



■SC3-RK タイプ



■電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。
■埋込スイッチ・埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C8340 に規程の市販品を利用してください。

工事＼タイプ	SC3，SC3-RK	SC3-S，SC3-EH
コンセント工事	換気扇の近くに結線用の中継ボックスを設けてください。	換気扇の近くに専用のコンセントを設けてください。
埋込スイッチ工事	操作しやすい場所に埋込スイッチ（システム部材）を設けてください。	

形名	埋込スイッチ
EX-20・25・30SC3	P-04SW（P-04SWL） P-04SW2（P-04SWL2）
EX-20・25・30SC3-S EX-20・25・30SC3-EH	P-10SW（P-10SWL） P-10SW2（P-10SWL2）
EX-20・25・30SC3-RK	P-02SW P-03SW

（ ）は 24 時間換気用です

4. 据付方法

⚠注意　●据付けの際は必ず手袋を着用するけがの原因。

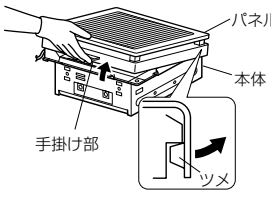
本据付説明書記載の内容が確保されず、点検・修理するために必要となる壁等の取り壊しおよび修復費用はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

●防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合は、据付部材（システム部材）が必要です。（ウェザーカバー・据付部材対応表参照）
据付方法は据付部材（システム部材）の説明書を参照ください。

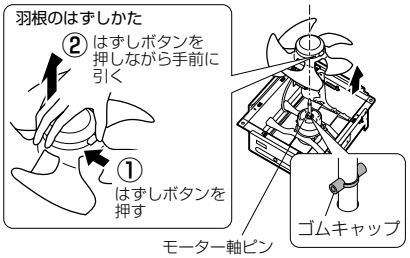
1 本体・固定枠・屋外部材（ウェザーカバー）をセットする

（1）パネルをはずす
- 手掛け部を手前に引いてパネル裏側上面のツメを本体からはずす。

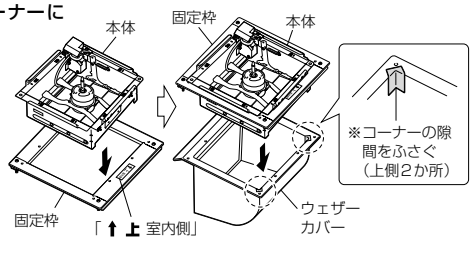
（2）羽根をはずす
- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。



お願い
- **モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。**
  異常音発生の原因。
- **シャッターを開いたまま床などに置かないでください。**
  シャッターが変形し動作しないことがあります。



（3）ウェザーカバーのコーナーに防水テープを貼る
- ウェザーカバーの上側コーナー２か所に、内側より、付属の防水テープ（２枚）を貼る。（最後に行うコーキングの補助）

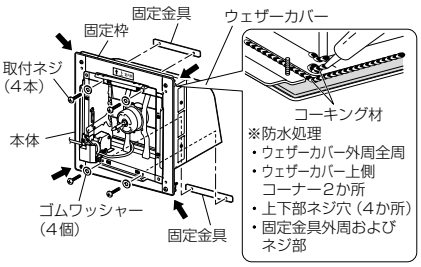


（4）本体と固定枠をはめ込む
- 固定枠は「↑上」を上側にして、クッション側が下面になる様にはめ込む。

お願い
固定枠に貼ってある防水テープ（４枚）をはがさないでください。
（防火ダンパー付ウェザーカバー据付部材を使用する場合ははがします）

（5）システム部材のウェザーカバーに（4）ではめ込んだ本体・固定枠のセットをはめ込む

（6）付属の固定金具をウェザーカバーの上下部にあて、本体側からネジ（４本）とゴムワッシャー（４個）で本体・固定枠・ウェザーカバーを固定する

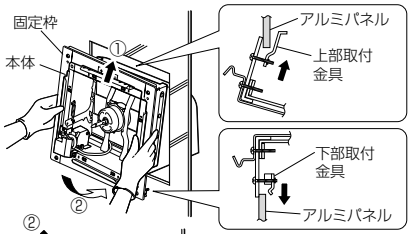


（7）ウェザーカバーと固定枠のすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す
（ウェザーカバー外周全周、ウェザーカバー上側コーナー２か所、不要のネジ穴４か所、上下固定金具外周全周、固定金具ネジ部４か所）

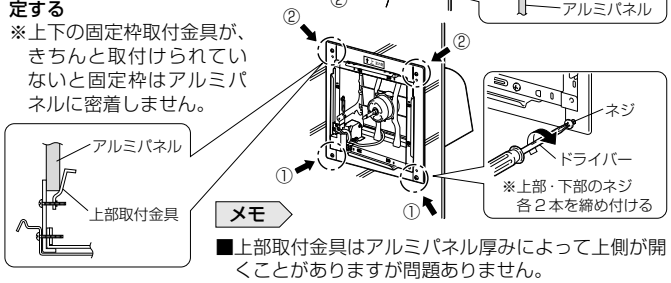
2 窓枠にはめ込んだアルミパネルに手順 1 で組み立てた本体・固定枠・ウェザーカバーのセットを据付ける

（1）上部取付金具にアルミパネルを挟み込む様にして本体を上方向に差し込む

（2）本体下部を前に押し、固定枠をアルミパネルへ密着させる様にして本体を下へ降ろす
※下部取付金具がアルミパネルに挟み込まれます。アルミパネルと固定枠が密着しているか確認してください。



（3）固定枠下部のネジ２本を締め付けてから、固定枠上部のネジ２本を締め付け、固定する
※上下の固定枠取付金具が、きちんと取付けられていないと固定枠はアルミパネルに密着しません。



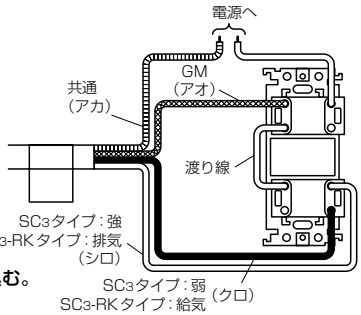
メモ
■上部取付金具はアルミパネル厚みによって上側が開くことがありますが問題ありません。

3 電源コードを接続する

＜SC3,SC3-RKタイプの場合＞
- 結線図を参考に結線する。

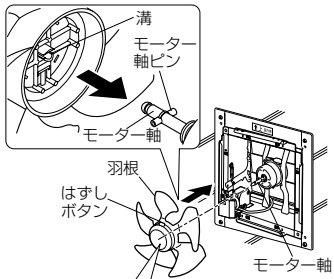
お願い
- **本体電源コードをスイッチに直接接続する場合は、リード線先端に市販の棒型圧着端子を専用工具でかしめてください。**

＜SC3-S,SC3-EHタイプの場合＞
- 電源プラグを専用コンセントに差し込む。



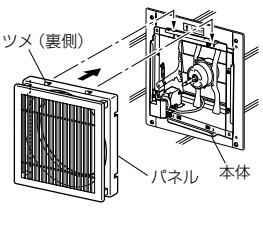
4 羽根とパネルを取付ける

（1）羽根を取付ける
①羽根裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
②羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。



⚠注意
- 羽根が確実に取付けられていないと、運転中に羽根が落下し、けがをするおそれがあります。

（2）パネルを取付ける
- パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付ける。



5. 据付後の確認

●据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
●不具合があった場合は必ず直してください。
（機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません）

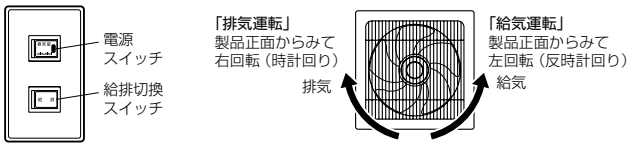
チェック項目	不具合の対策	チェック
電源は 100V ですか？	100V に直します。 （異電圧を印加すると製品が破損します）	
本体の据付け強度は十分ですか？	付属の固定金具、取付ネジで確実に固定します。	
パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。	
羽根が確実に取付けられていますか？	羽根を取付け直します。	
結線は正しいですか？	結線図に従って正しく結線してください。	

6. 試運転

■電源スイッチを操作して、換気扇が運転・停止するか、異常な音・振動がないかを確認してください。（シャッターの開・閉もあわせて確認してください）

＜SC3-RKタイプの場合＞

●給排切換スイッチを操作して「排気・給気」が切換えができているか確認してください。（排気・給気は羽根の回転方向で確認できます）



■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原　因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない（シャッターは開くが、羽根が回転しない）	正しく結線されていない（スイッチの渡り線が未配線など）	結線を確認する（スイッチ部/電源接続部）
	羽根が確実に取付けられていない	羽根を取付け直します
電源スイッチを入れてもシャッターが開かない（羽根は回転するが、シャッターが開かない）	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない（スイッチの渡り線が未配線など）	結線を確認する（スイッチ部/電源接続部）
	シャッターに異物などが付着している	異物を取り除く
	シャッターが本体に引っ掛かっている（パネル内部）	パネルをはずし、引っ掛かりをはずす
シャッターが閉じない	シャッターに異物などが付着している	異物を取り除く
	シャッターが本体に引っ掛かっている（パネル内部）	パネルをはずし、引っ掛かりをはずす
排気・給気が切換わらない（SC3-RK タイプの場合） 強・弱が切換わらない（SC3タイプの場合）	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部/電源接続部）
運転中に異常音や振動がする	本体・パネル・固定枠が確実に取付けられていない	取付け直す
	羽根・パネルに異物が付着している	異物を取り除く
結線を確認しても換気扇が動作しない	製品が故障している	製品に 100V を印加して確認する ＜SC3-RK タイプ＞ 共通-排⇒羽根が回る（右回転） 共通-給⇒羽根が回る（左回転） 共通-GM⇒シャッターが開く ＜SC3タイプ＞ 共通-強⇒羽根が回る（強運転） 共通-弱⇒羽根が回る（弱運転） 共通-GM⇒シャッターが開く

使用方法

■SC3 タイプ
電源スイッチで**「入」⟷「切」**します。
強弱切換スイッチで**「強運転」⟷「弱運転」**が切換わります。

■SC3-S,SC3-EH タイプ
壁スイッチで**「入」⟷「切」**します。

■SC3-RK タイプ
電源スイッチで**「入」⟷「切」**します。
給排切換スイッチで**「給気」⟷「排気」**が切換わります。

※24 時間換気用として使用する場合は、特別な場合（運転異常・点検・お手入れ）を除き、常時電源スイッチを「入」でご使用ください。

お願い

■換気扇据付場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
■お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
（異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因）
■給気運転時は、雨水・雪・霧を吸い込み、室内に水滴が滴下することがありますので、そのような場合には「給気運転」を停止してください。また、換気扇の下に書棚等を設置しないでください。（SC3-RK タイプのみ）

メモ

●給気運転時は直接外気が吸い込まれ、虫・ほこりなどが侵入するおそれがあります。（SC3-RK タイプのみ）
●冬期、結露によって本体から結露水が滴下することがあります。（SC3-RK タイプのみ）

お手入れのしかた

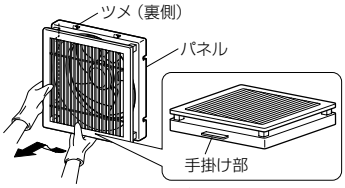
換気扇が汚れてきましたら約２～３か月に１度を目安として、以下の順序で清掃してください。

⚠警告
●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。感電やけがの原因。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電やけがの原因。

⚠注意
●お手入れの際は手袋を着用する。
けがの原因。

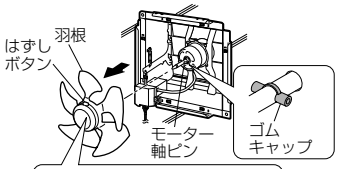
各部品のはずしかた

1 パネル
●手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。



2 羽根
●羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

お願い
●モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。
異常音発生の原因。



3 本体
●本体の清掃は据付けたままでおこなう。

お願い
●本体を固定しているネジははずさないでください。
製品落下の原因。

清掃のしかた

中性洗剤 を使用して汚れを取る。

●パネルと羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗いよく乾燥させる。
●本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

お願い
●洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
●お手入れの際はモーターおよび充電部を濡らさないでください。
●モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。

お手入れ後の組立てと確認

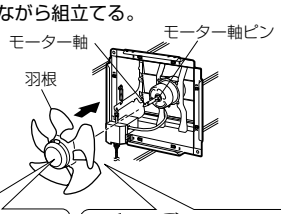
お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立てる。

■部品の落下や故障を防ぐため以下の点検をしながら組立てる。

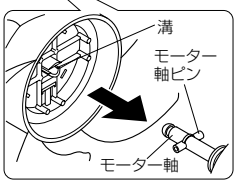
①電源コードに傷はないか？

②本体、羽根、パネルが確実に取付けられているか？

●羽根は、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

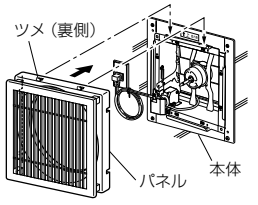


⚠注意
●羽根が確実に取付けられていないと、運転中に羽根が落下し、けがをするおそれがあります。

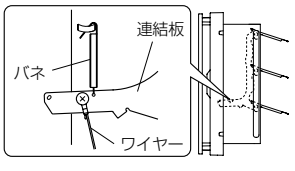


●パネルは、パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付けてください。

お願い
●羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認してください。
●パネルを軽く引っ張ってはずれないことを確認してください。
●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。



③電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。



故障かな？と思ったら

以下のような症状があれば点検してください。
点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原　　因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
運転中に異常な音がする	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？	取付け直します
シャッターが正常に動作しない	本体、シャッターが変形していませんか？	販売店または工事店へ確認します
	開閉機構の部品がはずれていませんか？	取付け直します

アフターサービス

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の取扱方法・施工方法についてのご案内　受付時間365日24時間

■ご相談対応
平日9:00～12:00　13:00～19:00（土・日・祝・当社休日以外）

●三菱電機換気送風機技術相談センター
全国どこからでもおかけいただけるフリーダイヤル
フリーダイヤル **0120-726471**（無料）

三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508－8666
岐阜県中津川市駒場町1番3号
FAX（0573）－66－5659（有料）
電話（0573）－66－8220（有料）

■上記時間帯以外のご相談（受付のみ）
●三菱電機お客さま相談センター
全国どこからでもおかけいただけるフリーコール
フリーコール **0120-139-365**（無料）
いつも サンキュー 3 6 5 日

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX（03）3413-4049（有料）	（03）3414-9655 （有料）

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）
インターネット **www.melsc.co.jp**
携帯電話サイト **fc8634@melsc.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX（03）3424-1115 （有料）	（03）3424-1111 （有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX（06）6454-3900 （有料）	（06）6454-3901 （有料）

空メールの送り先：またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

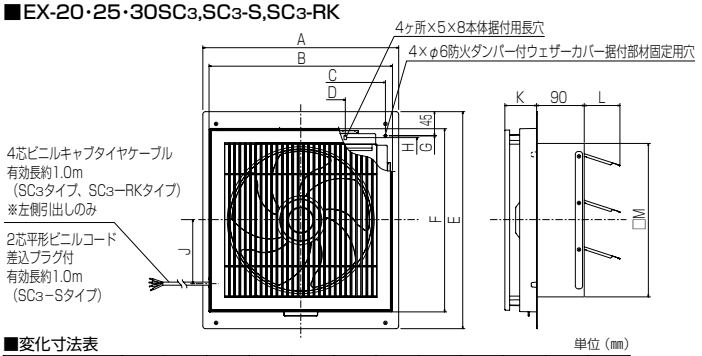
●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
モーターは消耗部品です。

外形寸法図

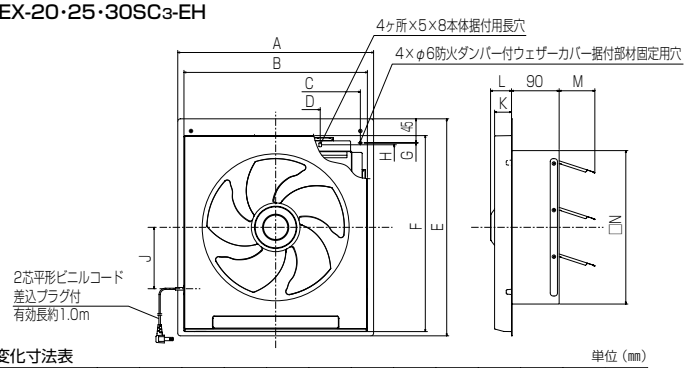
■EX-20･25･30SC3,SC3-S,SC3-RK



■変化寸法表　単位（mm）

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
EX-20SC3	320	296	270	120	360	296	270	265	100	64	52	240
EX-20SC3-S												
EX-20SC3-RK												
EX-25SC3	370	346	320	170	410	346	320	315	120	60	68	290
EX-25SC3-S												
EX-25SC3-RK												
EX-30SC3	420	396	370	220	460	396	370	365	140	80	85	340
EX-30SC3-S												
EX-30SC3-RK												

■EX-20･25･30SC3-EH



■変化寸法表　単位（mm）

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N
EX-20SC3-EH	320	296	270	120	360	320	270	265	100	36	50	52	240
EX-25SC3-EH	370	346	320	170	410	370	320	315	120	32	42	68	290
EX-30SC3-EH	420	396	370	220	460	420	370	365	140	45	－	85	340

仕　様

■窓枠据付け　格子タイプ＜学校・事務所用＞　電圧100V

形　名	給排		消費電力（W）		開放風量（m³/h）		有効換気量（m³/h） P-20･25･30 CVA4，CVS4据付時		P-20･25･30 CVAD4,CVSD4据付時		騒音（dB）		質量（kg）
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20SC3	排	強	15.5	18	540	606	485	540	450	480	37.5	41	3.4
		弱※	9	9.5	360	348	330	285	300	260	28	25.5	
EX-25SC3	排	強	31.5	38	900	996	805	860	710	755	40.5	43	3.9
		弱※	13	14	570	528	460	445	395	390	27.5	26	
EX-30SC3	排	強	40	48	1290	1290	1220	1190	1130	1100	42.5	42.5	4.6
		弱※	17	17.5	702	672	645	620	595	570	25.5	24	
EX-20SC3-S	排		15.5	18	540	606	485	540	450	480	37.5	41	3.4
EX-25SC3-S	排		31.5	38	900	996	805	860	710	755	40.5	43	3.9
EX-30SC3-S	排		40	48	1290	1290	1220	1190	1130	1100	42.5	42.5	4.6
EX-20SC3-RK	排		20	23.5	570	660	515	585	475	535	39	43.5	3.4
	給		9	10	324	288	270	250	240	210	36.5	33	
EX-25SC3-RK	排		32	40.5	954	1038	820	875	730	770	42	44.5	3.9
	給		13.5	14.5	510	474	400	370	350	320	38	35.5	
EX-30SC3-RK	排		43.5	50	1332	1314	1260	1195	1170	1100	43.5	43	4.6
	給		21.5	23.5	780	744	715	690	660	635	42	40.5	

※24時間換気運転です　※測定方法はJIS C 9603による

■窓枠据付け　標準タイプ＜学校・事務所用＞　電圧100V

形　名	給排	消費電力（W）		開放風量（m³/h）		有効換気量（m³/h） P-20･25･30 CVA4，CVS4据付時		P-20･25･30 CVAD4,CVSD4据付時		騒音（dB）		質量（kg）
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20SC3-EH	排	19.5	23	570	660	525	610	490	555	37	41	3.2
EX-25SC3-EH	排	32.5	40	996	1068	865	920	760	800	39	42	3.7
EX-30SC3-EH	排	40	48	1404	1404	1300	1270	1170	1130	40.5	40.5	4.4

※測定方法はJIS C 9603による

愛情点検　☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食、破損などがある。

▶ 使用中止　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名	
お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名（住　所）（電話番号）	（　）

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号